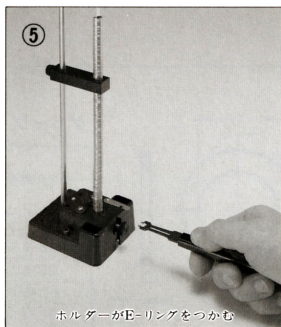
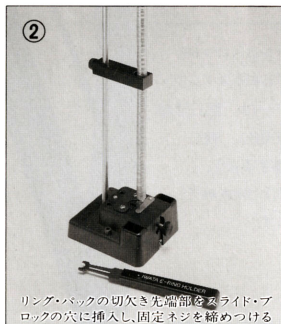
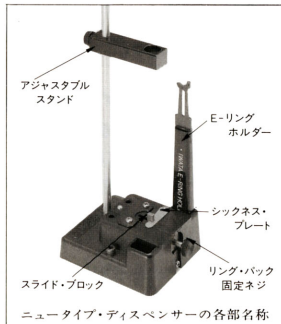


## ニュータイプ・ディスペンサーの使用法



(説明) 1. E-リングバックのレール先端部はA型とB型では次のようになっております。

A型



B型



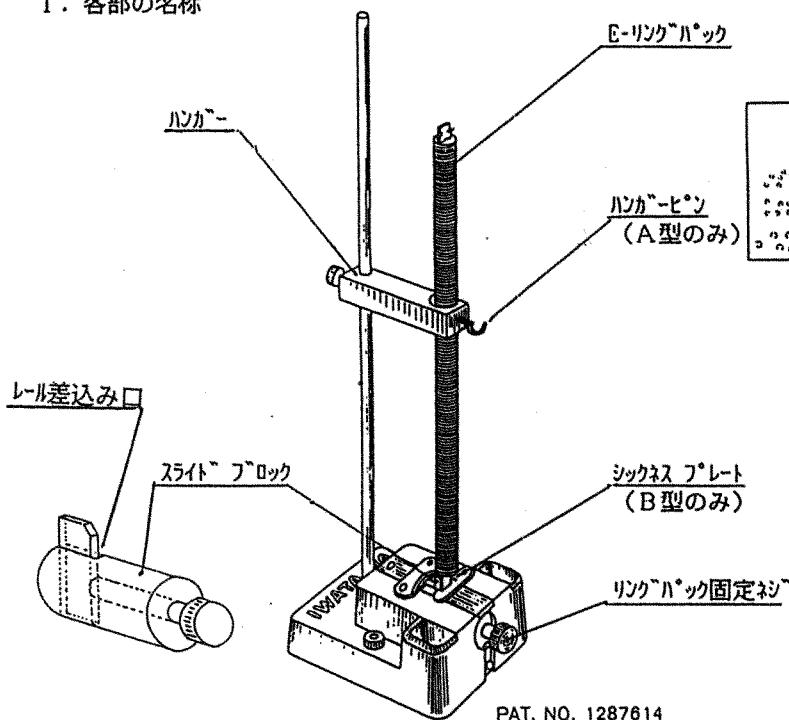
A型は先端を突き当てることで取り付け位置が決まるように寸法が設定されております。  
B型はシックネス・プレート(厚さが当該E-リングの板厚と同じ)で取り付け位置を決めます。  
どちらも切欠きのところでE-リングが抜けるようになっております。

なお、A型は上部の取り付けが引っ掛け方式になっておりますのでご注意ください。

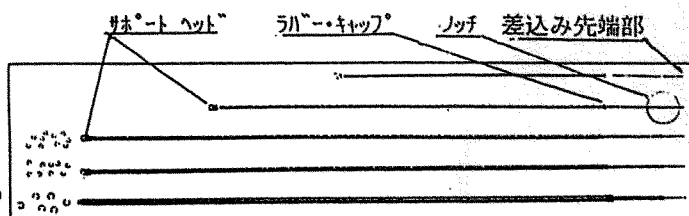
2. 写真はB型について説明しております。

このたびは、イワタ・ニュータイプディスペンサーをお買い上げ頂きましてありがとうございます。本器はEリングまたはCEリングの専用工具で簡単な操作ですぐにご使用いただけます。器具各部の名称および機能をよくご理解いただき、ご活用のごお願い致します。


1. 各部の名称




2. Eリング・バック



Eリングを通したレールの先端は次の二つのタイプがあります。

Aタイプ：ノッチを設けたタイプ 

Bタイプ：段付きになったタイプ 

レールの幅が狭くなったところにEリングが来て1ヶづつ抜ける構造になっております。

3. ニュータイプ・ディスペンサーの種類

呼び規格	使用されるリングの範囲		呼び規格	使用されるリングの範囲		記 事
JIS	A型	E-0.8~E-2.5	IWT	A型	E-001~E-20	リング・バックAタイプに対応
	B型	E-3~E-6		B型	E-24~E-60	リング・バックBタイプに対応

4. ディスペンサーへのリング・バックの取り付け方

- (1)リング・バックの背中を手前にして①Aタイプの場合はサポート・ヘッドをディスペンサーのハンガーピンにかけ②Bタイプの場合はハンガーの穴に通す。このときハンガーの高さはノッチまたは段付き部がスタンド上面で少したるむ位を目安にすればよろしいでしょう。
- (2)リング・バック固定ネジを緩めた後、リング・バックのラバーキャップを外す。このとき、Eリングがレールからぬけないように指先でレールをしっかり押さえておいて下さい。
- (3)この状態でリング・バックの差込み先端部をディスペンサーのスライドブロックの開口部(隙間)に静かに挿入する。  
①Aタイプでは先端が底に当たるまで②Bタイプではシックネス・プレートをスライド・ブロックにはめた状態で、これの上面に段付部が当たるまで差し込む。  
サイズの小さいEリングではレールが非常に細いのでこの作業は慎重に行なって下さい。
- (4)最後にリング・バック固定ネジを静かに締めつけて取り付けは完了します。Bタイプではこの後シックネス・プレートを90度回転させておいてください。またリング・バックにたるみがないようにハンガーの高さを調整して下さい。一度セットした後はEリングがなくなるまで固定ネジは絶対に緩めないで下さい。

5. ホルダーの使用に当たって

ホルダーには裏表がありますので、使用に当たってはご注意ください。(下図参照)

